

保護者の皆様へ

静岡産業大学在籍学生の保護者の皆様には、本学の教育研究への格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、この度の新型コロナウイルス感染症の拡大に対して、静岡産業大学は授業開始時期について5月7日への繰り下げをいたしました。これに伴い、キャンパス内への立ち入りの制限、スポーツ等の課外活動の当面の中止など、学生の皆さんには大変な不自由をおかけし、また保護者の皆様には、大変なご心配をおかけしております。

4月16日に政府が「緊急事態宣言」を全国に拡大したことにより、多くの若者が集まる場所である大学は、感染のクラスターにならないよう、より慎重に措置を講じていかなければなりません。そのために、静岡産業大学としては様々な方法で教育活動を強力に進めるよう努力してまいります。

静岡産業大学では、3月30日に出した学長メッセージで、新型コロナウイルス感染症拡大に対しては「学生、教職員の『安全』を最優先し、そのなかで『最善の教育活動』を行う」ことを基本方針としました。この基本方針に基づき、

- (1) 授業開始を5月7日とする
- (2) 前期授業は「オンライン授業」を中心として行い、前期期間（5月7日～7月31日）で終了する

という授業実施方針をたてました。この方針の下で、教員も積極的に準備を進めております。同時に全学生の通信ネットワーク環境の確認も行っております。また、履修登録担当教員からは学生あて「事前学習」を含めた連絡をしております。

この授業実施方針をとる期間は「今年度前期」としてはありますが、状況の変化により今後、期間を延長しなければならないかもしれません。

オンライン授業に関する教員の習熟は、教育の質と量を担保するという責任から大変重要なポイントです。

静岡産業大学では、3年前に「ICT研究機構」を立ち上げ、デジタル技術を用いた学習者中心の双方向型オンライン教育の研究を進めてきました。

これから始まるオンライン教育では、こうした経験を十分に活かし、さらに資源の投入を行い、教育の質を担保してまいります。

大変厳しい状況下ですが、全学が一団となって、静岡産業大学の教育を学生の皆さんに届けていく所存です。

保護者の皆様におかれましては、本学の新型コロナウイルス感染症対策、および本学の授業実施方針と実現への取組に何卒ご理解をいただき、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りたく、よろしくごお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響で経済的に修学が困難になる学生を対象に、本学は前期授業料の延納手続期間の延長や延納手数料の免除を行うことといたしました。また、奨学金など学生支援の体制も充実していますので、事務局までお気軽にご相談ください。

末筆ながら、日本中、そして世界中が新型コロナウイルスとの闘いを強いられる大変な情勢ではありますが、皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

2020年4月20日

静岡産業大学

学長 鷺崎早雄